第６分団きみまち班が小型ポンプ操法の部で全県優勝

～第42回秋田県消防操法大会～

９月５日、由利本荘市の秋田県消防学校において開催された第42回秋田県消防操法大会に、二ツ井町消防団第６分団きみまち班が能代市山本郡代表で出場。見事、小型ポンプ操法の部で優勝の栄冠に輝きました。二ツ井勢の県大会出場は22年ぶり。優勝は初の快挙です。

▲右から、指揮者の安保誠喜さん、１番員の七尾貴朗さん、２番員の田中圭一さん、３番員の伊藤義広さん

二ツ井町消防団第６分団きみまち班は、８月７日に能代市で開催された郡市消防競技大会において、小型ポンプ操法の部で優勝。二ツ井勢としては昭和58年に同じ第６分団が出場して以来、22年ぶりに秋田県消防操法大会への出場を決めました。

由利本荘市の県消防学校で開催された全県大会では、小型ポンプ操法の部できみまち班がトップバッターとして競技に挑み、日頃の練習で培ったスピードや正確性を遺憾なく発揮。結果はタイム41秒32、得点91・０と、２位に３点以上の差をつけ、見事優勝の栄冠に輝きました。

▲競技に挑む第６分団きみまち班

優勝の言葉

安保 誠喜さん（指揮者）

二ツ井町のみなさん、暖かいご声援をありがとうございました。初出場の県大会で優勝することができ、大変嬉しいです。

県大会では１番目の競技でしたが、私も他の３人も緊張せず、平常心で競技に挑めたことが優勝につながったと思います。早朝の練習やそれぞれが自宅で行った自主トレの成果もあり、今までで最高の演技ができました。私たちの出番が終わると、後は他のチームの競技を見ているだけとなり、結果が発表されるたびに自分たちの点数を上回らないかドキドキしましたが、最後に優勝が決まったときは、みんなでガッツポーズをして大喜びしました。

これからも二ツ井町の安全のために練習に励んでいきますので、引き続き消防団への応援をよろしくお願いします。